

保護者による評価

A環境面

活動スペースが確保されている。
家族以外の大人とかかわることのできる大切な場所となっている。

B児童への支援内容

子供の個性に合わせて対応してくれている。
様々な検定があり目標を定めてくれるのでありがたい。
指導員の人数が充実しており、指導員の質が良い

C事業所からの情報発信

家庭では見る事の出来ない姿を発信してくれる。
迅速に行動してくれるのでとても助かっている。

D非常対応

避難訓練の実施は不明。

事業所による自己評価

A環境面

様々な学年がいる中で、スペースが十分に分かれているので良い環境ではないか。

B児童への支援内容

活動プログラムの充実を目指し、様々なプログラム内容にしている。

C関係機関との連携

療育センター・病院との情報を共有している。

D保護者への説明責任・信頼関係

契約時や日々の連絡帳、面談などで確認や様子などを話している。

E非常対応

避難訓練の実施話されている。
防犯・感染予防・事故予防などのマニュアルがそろっており、マニュアルを用いた研修が毎月事業所内で行われている。

事業所内での分析

【分析】

指導員が子供の目線に立ち支援を行うことができている。送迎などに関する苦情も特になく児童に対しても保護者に対しても最善の支援を行うことができているのではないかと感じている。

改善点としてあげられる事は避難訓練の実施状況が保護者に十分に伝わっていない。マニュアルについても周知されていないのではないか。

普段の活動内容に関してももっと知っていただければよいのではないか。また充実した支援内容をもっと増やすためにも、専門指導員を増やすことができないか見当することもできる。

事業所の改善への取り組み

- ・今ある療育を充実させるために、保護者と面談し何を必要としているかニーズを捉えるとともに、事業所内で今以上にミーティングを行い、利用者一人ひとりのプログラムを考えていく。
- ・活動内容等を知っていただくために紙面だけでなく、直接お話できる機会があればその都度お知らせする。
- ・避難訓練の実施については事前事後報告を徹底するとともに、様々な曜日に行い利用者全体が参加できるように計画を組む。
- ・カリキュラムの強化に努める。